

こんにちは！お元気ですか。

マツサカエンジニアリング メルマガ 34 号を送ります！お楽しみください！

(※お電話頂いた時は・・・お電話有難うございます。

メック (英文名：Matsusaka Engineering Co.,Ltd の頭文字で MEC) です！と応答しますので宜しくお願いします)

## —★ News Topics ★—

[1. MEC 製品情報] ポンプの比較に一工夫を！高圧なだけじゃない QP-105SX

[2. MEC 技術部情報] 古くても斬新で個性的な QP ポンプ

[3. MEC 製造部情報] 外部研修/工場見学へ！！

[4. MEC 四方山話] 植樹から 20 年「MEC の桜」

☆☆—————☆☆

MEC 製品情報 : ポンプの比較に一工夫を！高圧なだけじゃない QP-105SX

—————☆☆

皆さん自吸式エンジンポンプの性能を比較する時は何を指標にされますか？

おそらく多くの方が「最大揚程（最大圧力）と最大水量」とお答えになるのではないのでしょうか。これはこれで王道だと思いますが、今回はちょっと違う視点で比較してみたいと思います。それは【そのモデルがどれくらい活用範囲が広いか！？】という事です。

どういう事かと言うと・・・

性能曲線図をイメージしてください、(A)横軸：吐出水量、(B)縦軸：全揚程、(C)性能曲線の 3 辺で囲まれる三角形ができますね。

「実際に使いたい性能（全揚程が XXm で、水量が YY ㍓欲しい）」がこの三角形の中に入っていればそのポンプは使えるという事になります。

下記のイメージ図をご覧ください。

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2024/04/performance-curve.pdf>

そしてこの範囲（三角形の面積）が広い＝活用できる範囲が広い、と言う事が出来ます。

ここで口径 1 インチの高圧ポンプである QP-105SX/GXH50 に焦点をあてて実際に見てみましょう。比較対象は同じく 1 インチの一般灌漑ポンプの QP-105M/GM082 です。単純に最大揚程と最大水量を比較すると次のようになります。

\*QP-105M/GM082 : 28m / 140L

\*QP-105SX/GXH50 : 60m / 110L

これだけを見ると「QP-105SX の方が圧力がとても高い、でも水量は負けているね」しか分かりませんが、前述の「活用できる範囲」を比べてみましょう。下記の比較資料をご覧ください。

[http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2024/04/comparative.chart\\_.pdf](http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2024/04/comparative.chart_.pdf)

これは性能曲線図を横軸と縦軸の目盛りを全く同じにし、マス目で区切ることで視覚的に比べ易くしたものです。

どうですか？面白いですよ。

QP-105SX はただ高圧・・・というだけでなく QP-105M と比べて「活用できる範囲が広い」という事が言えます。マス目の数で言うと 59 個 vs 89 個で、何と約 1.5 倍！

「ほとんどの範囲で QP-105M をカバーしつつ、高揚程域でも使える！」と少し印象が変わってきますよね。

ちなみに QP-105SX のリーフレットは下記からダウンロード出来ますので、ご利用ください。それでは、また面白い比較方法があれば

紹介していきたいと思います。

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2024/04/QP-105SX-catalogue.pdf>

(営業部 中瀬記)

☆★—————★☆☆

MEC 技術部情報：古くても斬新で個性的な QP ポンプ

—————☆☆

QP ポンプは半世紀を超える歴史があることをご存じでしょうか。

そのため技術室の図面庫には 昔ながらの古い図面があります。

今は CAD 図面で電子化されていますが、当時はドラフターで描かれた手書き図面です。何度も修正された形跡から分かる設計思想、実験データから裏付けられた形状など貴重な情報が勉強できる唯一無二の教科書です。ですので、色あせて破損も目立ちますが宝の地図の様に大切に保管しています。

今回は、そんな大先輩の方々が設計・開発された名機の一部を紹介したいと思いますのでお付き合いのほど、よろしくおねがいします。

下記ご一読後、リンクを開くと一層イメージして頂けると思います。

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2024/04/DESIGN-PUMP.pdf>

#### ◆QP-01

あざやかなオレンジ色で塗装されたアルミ鋳物製の 1.5 インチポンプ。生産していた時期はおそらく大阪万博開催された 1970 年辺りかだと思います。その後、QP-01 はダイキャスト製へと進化し QP-15 が誕生。現役は QP-154 として活躍しています。

#### ◆QP-30T

アルミ鋳物製 3 インチトラッシュポンプです。メンテナンスしやすい大きな掃除蓋を装備しトラッシュポンプの革命児として活躍しました。

そして吸込ホースを外さなくても開けられる掃除蓋と業界初オールアルミダイキャスト製トラッシュポンプ QP-301T が誕生しました。

国内をはじめ世界各国で高い評価を頂いており 後世に残さなければならない機種として、金型保全と更新を繰り返し現在も現役です。

#### ◆QP-4

このポンプは絶滅危惧種に指定されるほど希少なポンプではないでしょうか。

私も初めて見るポンプで興味津々です、MEC の老大家によると数字の 4 は口径ではなくエンジン馬力を表しているとの事。

頭がデカイデザインで、なんとその頭は取り外しができる構造になっています。QP の歴代 3 インチポンプは各世代とも個性的な姿形をしています。

さて QP ポンプの歴史の一部を紹介させて頂きました。技術者としてはこれらを超えるポンプを創造できたらなと思います。

これからも進化する QP ポンプにご期待下さい。

(技術部 辻本記)

☆★—————★☆☆

MEC 製造部情報：工場見学へ！！

☆☆

2020年から続いたコロナの影響により近年中々実現できていなかった外部研修、他社への訪問（会社見学）が今年3月ようやく実現しました！

ご協力いただいたのは旧三菱メキエンジン株式会社様（現 株式会社 Willbe）で愛知県津島市の工場を見学をさせていただきました。

因みに会社変更については公表されています通りですが『三菱重工メキエンジン株式会社』の株式が2024/3/29に『株式会社名光精機』に譲渡され、完全子会社化となる事を受け、新たに株式会社 Willbe に社名を変更したという事で、三菱重工のグループからは完全に独立した形という事です。

社名由来や経緯、スローガン等 もう少し詳細知りたい方は下記↓↓↓↓

[https://willbe-corp.com/about/news/20240329\\_1/](https://willbe-corp.com/about/news/20240329_1/)

見学当日の朝、日頃の行いは良いはず？なのに暴風雨吹き荒れる、稀にみる荒天！！そんな中4台の車に乗り込み『安全運転』を念押しあい、愛知県津島市に向け出発しました。高速道路走行中も雨風は弱まる事なく運転者はいつもより慎重に車を走らせる事となりました。途中、三重県北部付近でのパーキングエリアでちょっと早めの昼食・休憩となりましたが、このパーキングエリアは少々小さめの食堂でしたので MEC 社員で直ぐにいっぱいになってしまいました。また16名が一斉にオーダーしましたので一気に忙しくなってしまう、厨房の慌ただしさを感じると共に、どういう訳か過半数が『唐揚げ定食』を注文したようで、厨房のフライヤーはフル稼働で三角巾のお母さん達の慌ただし声、姿をみて少し申し訳ない気持ちになりました。

工場へ到着後は営業担当の方々にお出迎え頂きましたが、2019年12月に以前の岩塚工場からこの津島市に移転したばかりという事もあり、とても綺麗な工場でした。エントランスにはウェルカムモニターまで準備していただき歓迎してくださっている事が大変嬉しく、皆しっかり積極的に勉強させて頂こうと気を引き締めた瞬間でした。工場設備や動線、人の動作、生産システム等、自社と比較して違う手法に刺激を受ける一方で、同じ様な方法を用いたり課題を持っている事に『やっぱりそうだね』と安心する場面もありました。見学した皆がテーマパークに来たように目がキラキラ、ギラギラしていました。皆が熱心に質問し過ぎた為に結果として予定時間より30分もオーバーしてしまいましたが、皆が興味を持って勉強させていただく大変貴重な時間となりました。また訪問させて頂いたのは3月下旬で現株式会社 Will be（ウィルビー）へ変更となる直前でその中で大勢で押しかけしまい諸々お忙しいであろうにも関わらずご担当者皆様方、大変丁寧な工場説明ご対応を頂き恐縮するばかりでした。

工場見学や道中写真は下記↓↓

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2024/04/mitsubishi-factory.pdf>

(製造部 松本/出屋敷 記)

☆★—————★☆☆

MEC 四方山話：植樹から20年「MECの桜」

—————☆☆

春の到来を象徴する『桜』

繊細かつ優雅に咲く姿は、日本人のみならず世界中の人を魅了満開の桜を目当てに来日される外国人の方も多くいらっしゃいますね。桜の美しさ・儚さは、日本人の美意識や哲学にも影響を与えているとも言われています。そんな日本人にとって特別な「桜」が、MECにもあるのご存知でしょうか？

遡る事 約20年、2003年の10月にISO14001活動の取組の一環として我々と共に成長するようにと願いを込め「桜」の植樹を行いました。



東京都千代田区神田松永町 2 3 番

TEL : 03-3257-6130

FAX : 03-3257-6129

工 場

三重県多気郡多気町野中 2 1 5 5

TEL : 0598-39-3211

FAX : 0598-39-3131

発行/(株)マツサカエンジニアリング 営業部

